

BELIEVE

3学年だよ

伊達中学校 第3学年通信
令和元年 8月30日(金)
[3学年重点目標]
①文部両道(希望進路の実現)
②克己心(自分に厳しく周りに優しく)
③伊達中愛(最上級生としての誇り)
第17号 文責 松本 竜也

第18週 2019年 9月2日(月)～9月6日(金)

給食当番は1班②です。

伊達地区英語弁論大会終了!

伊達地区中学校英語弁論大会が、8月28日(水)MDDホール(伊達ふるさと会館)で行われました。本校からは、下記の通り、暗唱の部に2名、創作の部に1名、スキットの部に2グループ6名、計9名の3年生が出場しました。1学期末から今週まで、英語弁論大会の練習に真剣に取り組んできた成果を本番で堂々と発表しました。残念ながら県大会出場権は獲得できませんでしたが、それぞれ「MERIT」賞を受賞しました。夏休み、猛暑の中登校し、笹山先生をはじめ英語科の先生方のご指導の下、努力を積み重ねていた3年生の姿が印象的でした。

また、当日、全体の進行係を務めた数又華さん、佐藤亜月さん(ともに3-1)は、スムーズな会の運営に尽力しました。英語弁論大会に参加した生徒は、今回の貴重な経験を今後に生かしてほしいと思います。



伊達地区中学校英語弁論大会出場者(8/28)

- ◆暗唱の部…小島怜奈(3-2)「演題:The Giving Tree」
小野蓮華(3-3)「演題:Kiki's Delivery Service」
- ◆創作の部…浅尾真央(3-3)「演題:Hi,I'm Mao」
- ◆スキットの部…蜂谷理来, 逸見 郁, 長沢つぐみ(全員3-1)
「演題:Party Dress」
高木美羽, 伊藤悠希, 板橋優衣(全員3-3)
「演題:Miu in Wonderland」

月日 (曜)	朝	1	2	3	4	5	6
9/2 (月)	整理と研究	月1	月2	月3	月4	月5	月6
9/3 (火)	整理と研究	火1	火2	火3	火4	火5	火6
9/4 (水)	整理と研究	水1	水2	水3	水4	水5	総合
9/5 (木)	整理と研究	木1	木2	木3	木4	木5	木6
9/6 (金)	整理と研究	金1	金2	金3	金4	金5	



英語弁論大会の感想

◆英語弁論大会は、待ち遠しくもあり、来てほしくない日でもありました。お盆まで完璧な暗記ができておらず、この1週間はとても濃い日々でした。学年集会で英語弁論発表のリハーサルを行うことを急遽知らされた時、とても緊張しましたが、「本番前に大勢の前で発表できるのか」と、わくわくしていました。そのお陰で自分の順番が来る前は心臓がドキドキでしたが、台に立ち、話し始めていくうちに楽しくなり、カチコチにならずにできたと思います。金賞には届きませんでしたが、この経験を勉強に生かしていきたいです。(小島 怜奈)

◆夏休み明けは、発音やイントネーションが全然ダメで、先生方にたくさんアドバイスをもらいました。そのお陰でとても良い作品になったと思います。表情やジェスチャーも本番が成功して良かったです。しかし、一旦、頭が真っ白になり10秒くらい黙ってしまった部分がありました。他の英語弁論者の発音と比べるとまだまだで、とても悔しい思いをしました。だから、この経験を生かし、次に向けて頑張りたいと思います。(小野 蓮華)

◆この大会で私は、自分の力不足を切実に感じました。他のすごい人を見て、「もう少し頑張れたんじゃないか」と思いました。それでも、自分のスピーチをしている時は、とても楽しめました。今日の夜は、きっとずっと後悔するし結果を憎むけど、明日の朝にはこの経験を自分の心に留めて、これからの勉強の励みにしていくつもりです。スポットライトの暑さを感じることは、なかなか無いことだと思います。この体験を忘れずに、また何かに打ち込んでみたいです。(浅尾 真央)

伊達地区中学校英語弁論大会の感想

◆本番では緊張したけど、今まで練習してきた成果を出せて良かったです。自分達で台本をつくって、小物を使って、いろいろな先生に発音や動きを見てもらったりして、自分では良いと思っていたけど、思っていたより良い賞がもらえなくて悔しかったです。(長沢 つぐみ)

◆私は、夏休みの間ずっと理来ちゃんやつぐみちゃんと一緒に練習を頑張りました。最初は、英語の劇なんてできっこないなあと思っていたけど、練習していくうちに劇になっていき、その役を思いっきり演じることができるようになりました。本番もちゃんと役になりきってできたので良かったです。この経験を次の入試に生かしたいです。(逸見 郁)

◆私達は、夏休みから打合せを始めて、台本も小道具も1から考えました。最初は3人とも覚えられなくて劇にすらなっていなかったけれど、だんだんと練習を重ねていくうちに、少しずつ劇に近づいてきました。小道具も同時進行で作っていて、完成するか心配でしたが、良いものができて安心しました。夏休みが明けてからは、笹山先生をはじめたくさんの先生方からアドバイスをいただきました。本番は、自分ではうまくいったと思ったけど、周りの中学校との差を感じました。良い結果を残せなかった弁論の悔しさをバネに、これからの受験勉強を頑張りたいと思います。(蜂谷 理来)

◆私たちは、夏休みから当日まであまり練習がなく、少ない時間での練習はとても大変でした。主にストーリーは私が作り、セリフや動きを覚えるのもとても苦労しました。それでも練習はすごく楽しんでできたので良かったです。何も賞をもらえず、悔しい結果で終わってしまったので、この経験を受験に生かしたいと思います。(伊藤 悠希)

◆私は、スキットの部に出ました。大会まで夏休みや放課後などを使って練習してきました。特に大変だったのは、小道具作りや台詞を暗記することです。今回の大会は、悔しい結果でしたが、練習から本番まで楽しむことができたので良かったです。とても良い経験になったので、この経験を受験に生かしたいと思います。ご指導いただいた先生方ありがとうございました。(板橋 優衣)

◆英語弁論大会への参加は、長く習ってきた英語を発表する良い機会だったと思います。3人で楽しく発表できて良かったです。でも、結果は「MERIT」と優秀賞には及びませんでした。コーネリア先生は、敗因について、「次の場面への移動やセッティングの時間の長さ」を挙げました。夏休み中も明けてからも、あんなにたくさん練習したのにそんなことで負けるなんて、やっぱりすごく悔しかったです。「こんな思いは、もうしない!」と心に刻んで、受験や将来に生かしていきたいです。(高木 美羽)



◇フォトギャラリー(8/30「シェイクアウトふくしま」より)

1組



2組



3組

